

白井なおこ

しらい・なおこ
REPORT Vol.14



日野・生活者ネットワークニュース 白井なおこ REPORT 発行日：2022年4月20日
発行：日野・生活者ネットワーク 発行責任者：出沼恵美子
〒191-0062 日野市多摩平 2-3-12 中央日石ビル 4階
TEL: 042-514-8695 FAX: 042-514-8697 E-mail hino-net@cap.ocn.ne.jp

議 会 一 般 質 問

26年越しついに実現へ！ 子どもオンブズパーソン制度

日野・生活者ネットワークの議員がはじめて市議会です子どもオンブズパーソン制度について質問したのは1996年。それから26年の歳月を経て、ようやく「できるだけ早期に制度化に向けて検討を始める」との答弁を得ることができました。

子どもオンブズは どこまでも 子どもの味方

子どもの悩みに寄り添い、声を代弁し、問題の解決にあたる独立した機関、それが子どもオンブズパーソン制度です。

問題の根っこにある仕組みや環境を変えなくては、解決できないことがあります。子どもオンブズには調査権や勧告権があり、そこが従来の相談とは違います。日野市が制度化に一步を踏み出すことを、とても嬉しく感じます。

でも大切なのはこれからです。制度設計には、子ども条例策定に携わった市民委員や、子ども達の

声を聞いてほしい旨要望しました。

この度は「自分らしく 共に生きる社会を」をテーマに、次の質問・提案をしました。

▼ケアラー支援 条例策定に向けた長期的な見通しや、啓発動画を活用したヤングケアラーの実態把握

▼パートナーシップ制度 独立した条例の制定、性の多様性についての教育と教員の研修の充実、苦情処理相談窓口の機能強化

▼子どもの第三の居場所 生きづらさをかかえる子どもたちが安心して過ごすことができる居場所の充実と、選択できる環境

市長の所信表明に 対する質問

- ①公文書管理のあり方について条例化を要望
- ②女性副市長の登用について選考基準等を確認
- ③5〜11歳のワクチン接種について情報提供、「慎重に」という発信を要望
- ④気候非常事態宣言の早期実現を要望

活動フォト



南平体育館がオープンしました！

3月議会 トピックス

●第3次日野市環境基本計画

10年に一度の改訂にあたり、要望していた市民会議の開催については評価しました。ただ深刻な気候危機の対策に取り組むには、現在の体制では十分でないと考えます。環境政策課を設置し、横断的な環境施策の推進強化を求めました。

●2022年度予算より

厳しい財政状況は変わりませんが、課を超えて一緒に取り組む「政策課題連携枠」などの工夫は評価しました。

※ZEB(ネット・ゼロ・エネルギービル)消費エネルギーの収支ゼロを目指した建物

●市政初の女性副市長&最年少教育長決まる

副市長の定数が2名体制に変わる条例改正がありました。大切なことを決める場に、もっと女性を！日野ネットが長年求めていた女性の副市長が誕生しました。日野市政に新しい風を吹き込むことに期待します。

建築物の脱炭素化をすすめる上でZEB(※)化を積極的に取り入れることを求めました。

また、福島原発事故後に日野市が独自で行っていた学校給食の放射性物質検査が、一定の役割を終えたとして終了されました。なくなる予算について説明がないことを指摘し、決定過程に保護者の声をきくこと、また頻度を落とすとしても検査の継続を求めました。

ウクライナ、 そして世界の平和を！

子どもを含む多くの市民が犠牲になっている惨状に、世界中が心を痛めています。日野市でも募金箱を設置したり、ウクライナからの避難民の受け入れ態勢を準備しています。日野市議会では平和を求める決議(意思表明)をし、街頭募金活動を行いました。

日野市は核兵器廃絶・平和都市宣言から今年で40年。改めて市民の皆さんと再宣言の取り組みをする予定です。共に平和について考え、行動していきましょう。



市民の方より寄贈された市役所の懸垂幕